

2021 年度 外部アドバイザー委員会議事録

実施日：2021 年 12 月 25 日（土）

時 間：14：00-16：30

会 場：オンライン

出席者：23 名

議事内容

1. 主任挨拶（主任）
2. 学科の状況・入試関連（主任）
3. 就職状況（幹事長）
4. JABEE 継続審査の結果（幹事長）
5. 各部会から（現状と課題、継続改善事項など）
6. 議論

開催にあたり、参加者全員から挨拶があった。

1. 主任挨拶

主任より開会の挨拶、日本大学の現状についての説明があった。

2. 学科の現状・入試関連

主任より学部・学科の現状と入試関連について説明があった。外部アドバイザー委員より付属の選抜方法と入学後の状況に関する質問があり、推薦入試と一般入試の問題と入学後の教育上の問題に関して返答があった。また、一般入試からの入学者の長期的なトレンドに関して質問があり、長期的なトレンドと昨年の状況に関して説明があった。

3. 就職状況

資料に基づいて、就職状況に関して幹事長より説明があった。外部アドバイザー委員より進学率を除いたときの就職率について質問があり、2020 年度の状況に関して回答があった。また、進学後の就職先はわかるのかという質問と、進学後の進路などとれるデータは取っておいたほうが良いとの意見があり、学科教員より進学後の進路は、研究室によっては把握している、各分野によっても違うとの回答があった。外部アドバイザー委員よりこれまで JABEE の人数を増やした方が良いと助言してきたが、専門就職が増えていて、学科の試みがうまくいっているのでは、というコメントがあった。

4. JABEE 継続審査の結果

資料に基づいて、JABEE 継続審査の速報に関して幹事長より説明があった。外部アドバイザー委員より指摘されている内容についての質問があった。主任よりもう一度確認し、改善が施せるようであれば行っていくとの回答があった。

5. 各部会から（現状と課題、継続改善事項など）

学科教員より、教育改善部会で、外部アドバイザー委員会の重要性について説明があった。また、学生受け入れに関して、長年試行錯誤を行っており、いろいろな状況を踏まえていく必要があるとコメントがあった。さらにフィードバックに関して、今後シラバス作成の中に反映していくとの説明があった。また、JABEE 側のシステムがダブルトリプルスタンダードのような状態で十分な形で審査システムが追い付いていない印象であり、改善を希望する、とのコメントがあった。外部アドバイザー委員より、フィードバックは PDCA でいうと A か P かという質問があった。この質問に対し、学科教員より、小テストの結果に対し、正答を示すことやコメントを出すことがフィードバックであるとの回答があった。

6. 議論

・外部アドバイザー委員より、現在、対面授業が少ないが、コロナ後に向けてハイフレックス・リモート授業をどのように行っていくのか、ハイフレックス授業に対する対応が遅れているのでは、という質問・コメントがあった。これに対し学科教員より文理 8000 人規模ですぐにはもとはには戻せない、なるべく来てもらう方向にするが、ポストコロナの学生の意識が前のものと違う可能性がある、と回答があった。外部アドバイザー委員より、大学側が変わっていかなければならないとのコメントがあった。学科教員より、次年度の方針、今後は対面が増えるとの説明があった。また、学科教員より、学生アンケート調査では対面を希望すると回答した学生が少なく、学習効果は対面の方が良いが、学生が望むかは別とのコメントがあった。また、学科教員より、学務委員会の来年度の方針が示され、全体的にコロナ前に戻っていく方針であると説明があった。

・外部アドバイザー委員より、昔から応用地質がどのように変わってきているのか、長いスパンを考慮したものを学生に伝えたほうが良い、日大のユニークさ、教育の良さはどこにあるのかを考えること、それらのメッセージを外向きに出したほうがよいとのコメントがあった。また、企業に入っている卒業生に現状をフィードバックしてもらおうと良いとの提案があった。学科教員より、発信が不十分なところがあるが、学科専門科目で企業の方から直接的に企業のニーズを聞く機会を設けている。今後ツイッターなどでアピールポイントを発信していくとのコメントがあった。

・外部アドバイザー委員より、学生たちが日大で学んだことによって得したと思うポイントが示される工夫があると良いと思うとのコメントがあった。また、外部アドバイザー委員より、『現場主義』ということはこの学科で感じた、フィールド等を行っている印象があるとのコメントがあった。学科教員より、応用地質という視点から、研究室単位では環境・再生可能エネルギーなどに関わり合いがあり、研究室単位では学会でポスター賞等も受賞しており、研究室で学んだ、ということは言えているかもしれない、とのコメントがあった。

・外部アドバイザー委員より、入社説明会などで学生が JABEE の制度をよく理解していることが伺えた、とのコメントがあった。

・外部アドバイザー委員より、授業の方法に関して、対面が原則になったときには人によってはコロナ禍

で外出を控えたいという学生も出てくる、教員側の配慮が必要になるとのコメントがあった。

- ・外部アドバイザー委員より、学生に対して地球科学の魅力をどう伝えていくか、コロナが収まった後、どのような体制が組めるか、学会でも JABEE に協力していかなければならない、とのコメントがあった。

- ・外部アドバイザー委員より、学生のメンタルケアが重要、例えば、卒論では副指導教官を置く、など、また、実習もこれから展開していく上でいろいろなケアが必要になってくる、とのコメントがあった。さらに外部アドバイザー委員より、指導教員との関係のほかに、サポートできる方、相談できる方が必要とのコメントがあった。

- ・外部アドバイザー委員より、今期の志願者傾向に関して説明があった。

- ・外部アドバイザー委員より、もう少し、企業と大学との情報交換が必要、企業の求める人材をフィードバックできれば、とのコメントがあった。これに対し、学科教員より、卒業生がいる企業と情報交換や会社説明会の機会を増やしていきたいと説明があった。また、オンラインでのプレゼン力をいかに高められるか、オンラインでどこまで対面と同様の授業に近づけることができるかが重要であるとの意見があった。

- ・外部アドバイザー委員より、日大の地球科学科は技術者を多数輩出している、とコメントがあった。

- ・外部アドバイザー委員より、地球科学科はサイエンスとテクノロジーに強い印象がある、企業側にとっても下地がある学生は即戦力になる、就職に関して強みを持っているとのコメントがあった。

以上